

教育委員会会議録〔詳細〕は、市役所 1 号館 2 階の市政資料室で公開しています。

.....

佐 倉 市 教 育 委 員 会 会 議 録〔会議概要〕

令和 6 年 1 1 月教育委員会会議：定例会

期 日 令和 6 年 1 1 月 2 0 日（水） 開会 午後 2 時 0 0 分
閉会 午後 2 時 4 3 分

会 場 社会福祉センター 3 階中会議室

出席委員 圓城寺一雄 教育長 吉村真理子 教育長職務代理者
菅谷 義範 委員 柴内 靖 委員
清水 弥生 委員

傍 聴 者 0 名

出席職員	教 育 長	圓城寺一雄(再掲)	教 育 部 長	緑川 義徳
	教育部参事(学務課長事務取扱)	村上 武宏	教育部参事(指導課長事務取扱)	榎本 泰之
	教育総務課長	宮崎由美子	教育センター所長	神成 裕尊
	社会教育課長	舎人 樹央	指導課保健給食班長	指簾 尚
	教育総務課施設班長	新川 ゆか	教育総務課企画財務班長	伊藤 浩司
事 務 局	教育総務課教育総務班長	千々岩和代	教育総務課教育総務班	小高 純

〈 会議概要 〉

1 教育長開会宣言

2 報告事項

① 教育長より 1 件報告 (教育長)

諸般の報告を 3 点申し上げる。1 点目は、令和 6 年度千葉県小中学校体育連盟印旛支部・佐倉市教育委員会指定の体育科公開授業研究大会及び第 63 回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会について。2 点目は、佐倉市市制施行 70 周年記念式典について。3 点目は、第一部会小中学校音楽発表会について。

初めに、10 月 18 日に上志津小学校で実施された令和 6 年度印教連体育科公開授業研究大会及び 10 月 25 日に佐倉中学校で開催された第 63 回関東甲

信越地区中学校技術・家庭科研究大会について。両校ともたくさんの参観者の方に来校いただき、有意義な研究大会となった。上志津小学校では、生き生きと運動に親しむ児童の姿が、佐倉中では生活が豊かになるような物づくりについて、より具体的に話し合う生徒の姿が見られた。授業者の先生方や児童生徒が生き生きと授業の課題に取り組む姿が印象的で、大変実りの多い研究大会となった。

次は、10月27日に佐倉ハーモニーホールで行われた佐倉市市制施行70周年記念式典について。式典では、佐倉中学校の吹奏楽部、寺崎小学校、西志津小学校が発表した。佐倉中学校は、吹奏楽の重厚な演奏と佐倉市市制記念の歌でオープニングに花を添えた。寺崎小学校、西志津小学校は、表情豊かに素敵なハーモニーを響かせ、観客まで笑顔になるような合唱を披露した。式典という大きな舞台での演奏は、児童生徒にとって今後の自信につながるよい機会となった。なお、関連行事として10月19日に開催された青春文化祭では、井野小学校、王子台小学校、西志津中学校が吹奏楽の演奏を、根郷小学校が合唱をそれぞれ一般に披露した。

なお、式典の中で市政功労者表彰式が行われ、菅谷委員が受賞された。長きにわたるご功績により自治功労者として表彰の栄に浴されたものである。ここで菅谷委員から一言いただきたいと思う。

(菅谷委員)

自治功労者ということで、佐倉市の功労者表彰をいただいた。私、鑑みるとあまり何か実績が上がっているということではなくて、表彰いただいたことが何かちょっと意外だった。教育委員4期目だが、なかなか教育のほうもまだ十分に功労できていないのかと思うが、これを機に佐倉市のいろんな事業や、教育に関しての事業についてもまた協力させていただきたい。いろいろ教えていただくこともあると思うので、よろしく願いしたい。

(教育長)

それでは、3つ目、10月30日、31日の2日間にわたり、佐倉ハーモニーホールで開催された第一部会小中学校音楽発表会について。30日の小学校音楽発表会には、佐倉市内小学校全23校と酒々井町内小学校2校が、31日の中学校音楽発表会には、佐倉市内中学校全11校と酒々井町立酒々井中学校が参加し、開催された。両日ともに合唱や合奏の美しいハーモニーがホールいっぱいに響き渡った。発表前の緊張した様子、演奏直前の集中した表情、体全体で楽しみながら発表した後の達成感と安堵に満ちた表情など、様々な児童生徒の一生懸命な姿が印象的だった。日頃の練習の成果が存分に発揮された、とてもすばらしい発表会となった。

② 佐倉市におけるこれからの学校のあり方懇話会の進捗状況について

【教育総務課長】

10月10日に開催した第2回佐倉市におけるこれからの学校のあり方懇話会について、開催概要を報告する。

資料の1ページ目。第2回懇話会では、児童生徒の減少に伴う影響への対

応についてとアンケート調査票について意見をいただいた。

2 ページ目。児童生徒の減少に伴う影響を議論するに当たり、将来推計を行った結果となっている。佐倉市総合計画で出している将来推計値を基に、市全体の推計とともに学校ごとのデータなどを懇話会では提示した。本日お示ししているのは、市全体の推計になるが、本市の児童生徒数は約 40 年前の 1985 年をピークに、現在はピーク時の約半分となっている中、約 35 年後の 2060 年には現在より約 6,000 人減少するものと推計している。現在においてもクラス替えができない学級がある、いわゆる小規模校が本市にも複数校ある。将来的には小規模校のさらなる増加が見込まれているところである。

委員の皆様からは、子どもたちが多様な意見に触れる機会や社会性が身につくか、自己主張ができるのかといった意見をいただいたところである。また、学校規模が小さくなると、教員の配置にも余裕がなくなり、教員 1 人当たりの校務分掌の増加や、中学校でいえば教科ごとの担任が配置できないといった諸課題が想定される旨を説明した。委員の皆様からは、教員の確保が難しくなる中、学校運営の一部について地域の方々からの支援を受けることや教員の魅力を発信していくことが重要ではないかといった意見をいただいたところである。

3 ページ。アンケート調査についての報告である。第 2 回会議で最終的な設問を決定し、10 月末より資料に記載どおりの各対象者に配付をして、現在は集計作業を行っているところである。設問の一部を紹介すると、児童生徒向けには学校生活は楽しいかや将来どのような大人になりたいかなどを設定した。保護者や市民向けには、どのような教育内容に力を入れるべきかや学校の統廃合に対する考え方を伺う質問を設定した。教員向けには、働き方改革が進み、時間に余裕ができた場合には、その時間をどのように使いたいか、また小規模校化によって生じるメリット・デメリットは何かという設問を設定した。アンケート調査の結果については、まとめ次第改めて報告をさせていただきます。

③ 表彰関係について【指導課長】

表彰関係について報告する。

別紙、令和 6 年度表彰関係について。指導課からは、3 名の方が表彰を受けている。

まず初めに、井野中学校の山田真史校長。学校体育の振興に寄与し、特に印旛支部体育の発展に大きく貢献した。このたび千葉県学校体育功労者表彰を受賞している。

続いて、佐倉小学校の高木博子養護教諭。印旛地区のみならず千葉県の健康教育の推進と発展に寄与していただいた。このたび千葉県学校健康教育功労者表彰を受賞している。

最後に、臼井中学校の山田博子養護教諭。長きにわたり佐倉市の歯科保健指導を推進し、現在は千葉県養護教諭会調査研究委員として養護教諭の資質向上に貢献している。このたび千葉県歯科医師会表彰を受賞している。

④ 第 70 回佐倉市幼・小・中学校図画書写作品展について【指導課長】

第 70 回佐倉市幼・小・中学校図画書写作品展について報告する。

10月9日から14日の6日間、美術館にて開催することができた。各小中学校からは、図画、書写を合わせて1,199点の出品があった。来場者は、延べ1万65名で、家族連れなど非常に多くの方にご来場いただいた。どの子どもたちの作品もととてもすばらしく、来場していただいた皆様に大変喜んでいただくことができた。

⑤ 第19回佐倉市子供議会について【指導課長】

第19回佐倉市子供議会について報告する。

11月5日火曜日の午後に、議場にて開催した。今年度は、小学校11校の代表者13名が参加している。子どもたちの質問はどれもすばらしく、佐倉市のことを真剣に考えていることがうかがえた。また、模擬議会を体験することで市役所の働きや市の政治の仕組みなどを、より深く学習することができたと感じている。約2時間半に及ぶ議会だったが、子どもたちは最後まで真剣な面持ちで参加し、その姿は学校の代表という使命感にあふれ、すばらしい体験ができたのではないかと考えている。

⑥ 第8回佐倉学子ども作品展について【社会教育課長】

第8回佐倉学子ども作品展について報告する。

第8回佐倉学子ども作品展を幼・小・中学校図画書写作品展の一角をお借りして、美術館で開催した。概要としては、資料のとおりだが、応募総数1,140点のうち校内選考を行っていただき、合計で105点が展示された。その中で、市長賞13点、教育長賞27点とさせていただいたところである。受賞された作品以外についても、実際に現地に足を運んで調べたり写真や絵を用い丁寧にまとめるなど力作ぞろいであった。なお、作品展の様子を掲載している。

また、12月下旬まで市役所1号館3階廊下にて、1月8日水曜日から約1か月間、夢咲くら館での受賞作品の展示を行う予定である。

⑦ 令和7年佐倉市成人式について【社会教育課長】

令和7年佐倉市成人式について報告する。

例年同様、主催は佐倉市と佐倉市教育委員会となり、実施担当はこども支援部こども政策課となる。開催日は、令和7年1月13日の成人の日。本年も新成人を中心とした成人式運営委員会により企画、記念品の選定、準備から式典の司会進行を行う。なお、今年度も昨年度に引き続き、臼井・千代田地区、志津地区、佐倉・根郷・和田・弥富地区の3回の開催となる。また、保護者についても入場可能となっている。最後に、3ページ、令和7年成人の日事業対象者人数については、前年の対象人数と比べて66人増の1,635人となる予定である。

⑧ いじめの状況について【指導課長】

10月末日までのいじめの状況について報告する。認知件数は、小学校が352件、中学校が240件、合わせて592件の報告を受けている。いじめの問題では、子どもたちの心の様態も含めて非常に複雑なものもあるので、今後もきめ細やかに子どもたちの状況把握に努め、子どもたちへの声かけを大切にす

るとともに、相談しやすい環境整備に努め、いじめの早期発見、即日対応に努めていく。

⑨ 感染症の状況について【指導課長】

10月12日から11月15日までの感染症について報告する。新型コロナウイルス感染症が25名、インフルエンザ、マイコプラズマ肺炎がそれぞれ24名ずつ、溶連菌感染症が14名、水痘が11名、手足口病が4名、流行性耳下腺炎が3名、流行性角結膜炎が1名の報告があった。この期間の学級閉鎖はない。これから本格的な感染症の流行時期を迎えるため、各学校へは引き続き基本的な感染症予防対策を徹底するよう指示していく。

《委員から報告》

感染症の追加報告をする。

まず、新型コロナウイルス感染症だが、先週第46週、11月11日から11月17日、印旛市郡医師会内での定点当たりの総数82。定点当たり3.42。ただ、その前週45週、11月4日から11月10日までが定点当たり1.88だったので、2倍弱になっている。その前の週44週、10月28日から11月3日が2.42で、先々週が減っているのに、このまま減るかと思ったら、また先週増えた。この感染症の特徴として、また増えてくる可能性があり、今週、来週にかけて油断ができないので、また定点当たりどのくらい増えたか確認をしておくが、注意をしていただきたいと思います。

それから、インフルエンザだが、先週第46週、11月11日から11月17日が定点当たり3.56、その前の週の45週、11月4日から11月10日が2.08、もう一週前の44週、10月28日から11月3日で1.0なので、ここで1を超えて流行期に入ったということだが、インフルエンザのほうはずっと増加傾向である。減る傾向は今のところない。また、同時流行があるのかどうかについては、今のところ予想ができないが、昨日、今日大分寒くなっているのに、これは未確認だが、今週からインフルエンザも増加してくる可能性はあるということで、気をつけていただきたいと思います。

インフルエンザの予防接種については、65歳以上の定期接種は順調に打たれているが、一般のかたはほとんどまだ打たれていないので、小中学校あるいは保護者がインフルエンザの予防接種だけでも打たれていたらいいのかなと思う。

新型コロナウイルス感染症については、当院のスタッフの抗体価を調べると、今のところ割合もっている。抗体価が高いのでまだ打っていないスタッフがほとんどだが、一般のかたは抗体価のチェックをされていないので、この辺はどうするか、なかなか難しいところで、ただ注射の値段が結構高いので、気軽に打てないということがあり、判断はもう各家庭にお任せするしかないかなと、ただし学校での感染予防については引き続き気をつけていただくということで、増加傾向にあるということだけ確認をしていただければと思う。

そのほかにマイコプラズマについて、印旛市郡医師会内の定点は、まだ0.5である。ところが、これは定点の偏りがあり、どうも今報告いただいた件数ぐらいのことはあるのだろうと思うので、ニュースで言われているほど

らの定点での数値は高くないが、気をつけていただきたい。ただ、なかなかやり方がなくて抗生剤ぐらいしかないので、対症療法でいっていただくということである。

それから、手足口病が意外とまだ残っており、先週 46 週、11 月 11 日から 11 月 17 日で定点当たりまだ 7.83 ある。なので、これも油断できないのだが、順調に下がっている。前週 45 週、11 月 4 日から 11 月 10 日が 9.94 だった。その前の週が 16.81 なので、これは順調に下がっているのも、今後増えることはまずないだろうと思うが、大人がかかると厄介なので、これも注意していただきたいと思う。

3 議決事項

議案第 1 号 令和 6 年度佐倉市 11 月補正予算（教育委員会所管分）について
教育総務課長より上程議案の説明

内容：議案第 1 号 令和 6 年度佐倉市 11 月補正予算（教育委員会所管分）について説明する。資料 1 ページ、11 月補正歳入歳出予算の総括。表の右から 3 列目、11 月補正額として太枠で囲っている部分。補正額については、歳出が 4,589 万 8,000 円の増額となっている。

続いて、予算の概要を説明する。2 ページ以降の歳出。資料の右側、給与改定に伴う人件費の補正と記入されているものについては、千葉県人事委員会勧告により、職員人件費と会計年度任用職員の給与改定が行われたもので、今回の補正予算のほとんどがこれに該当している。千葉県人事委員会勧告により、給料月額などが引き上げられたことから、基本的には増額補正となっているが、4 月の人事異動で職員数が減少している所属や若手職員が増えた所属においては、職員単価の関係上一部減額補正となっている。

続いて、人件費関係以外の歳出について説明する。ページは 4 ページ。中段の 5 項社会教育費、1 目社会教育総務費、10、社会教育施設改築・改造事業 8 万円の増額である。こちらは、旧佐倉図書館解体工事により生じた隣接家屋の外壁亀裂に対する補償費として計上するものである。

続いて、5 ページ、6 項保健体育費、3 目学校給食費、6、学校給食食材支援事業 434 万 1,000 円の増額である。こちらは新米価格高騰の影響による予算不足を補うために計上するものである。

続いて、6 ページ。債務負担行為補正が 11 件ある。債務負担行為補正のうち、上から 5 項目の警備業務委託については、小中学校及び幼稚園の警備業務を委託し、学校の安全確保に努めるものである。

続いて、7 ページ、通年債務負担行為補正が 18 件ある。こちらの通年債務負担行為補正については、令和 7 年度当初から実施する通年の業務委託等について、本年度中に入札等の契約事務を執行する必要があることから、債務負担行為を設定しようとするものである。通年債務負担行為補正のうち、部活動地域移行実証調査業務委託については、今年度より 11 校 11 部活で実施している部活動地域移行実証事業を、令和 7 年度も引き続き実施するために設定しようとするものである。

《議決事項についての質疑概要》

【委員 1 名より】

3 ページ、教育費、1 の教育総務費の事務局費について、給与改定ということで、給料自体は減っているが、手当が 974 万で、人員構成というよりも手当自体の増額補正ということで、減った人数分以上に手当分が増えていったということか。単価が増えたということで、結構な差がある。

【教育総務課長】

給料の減の部分については、人事異動で給与月額の高い方が出て、比較的低い若い方が入ったりということで減額になることがある。手当については、時間外手当の増という部分もあるが、今回千葉県の人件委員会勧告で期末手当の増額の決定が出たので、その部分で手当の部分が引上げになったことで増えているというところである。

【委員 1 名より】

大体 6 倍というか、引いていくと 10 倍ぐらいの差があるので、これは人数の減とか入替えよりも手当の額の改正のほうが強かったという、そういう解釈でいいか。

【教育総務課長】

その通りである。

【委員 1 名より】

4 ページの金額は少ないが、社会教育施設の改築・改造事業で工事の関係で生じた隣の補償ということで、その工事を請け負った業者が保険に入っていて保険で適用するのが普通だと思うが、保険の適用外であったり賠償金であったり、その辺はどうか。

【社会教育課長】

本業務については、まず旧佐倉図書館の解体工事をした際に伴う隣接した家についての補償という形になっており、6 月補正に調査委託費を上げたところだが、実際工事を行った段階で事前調査、事後調査を行った中で、あくまでも仕様書どおりに基づいて工事は行っているため、それによって起きたわけではない。瑕疵ではないという捉え方をしており、あくまでも補償については市で行うものと認識して、6 月補正で調査委託費をかけて、今回その補償金の額を定めたというところになる。

【委員 1 名より】

7 ページの通年債務負担行為の補正について、清掃業務の委託は、これは大きさによってのものだと思うが、中央公民館と弥富公民館の費用が大体 4 倍ぐらい違っている。それからこれの清掃委託業務費は、やっぱりこれくらいかかるのか。夢咲くら館は 1,200 万かかっている。

【社会教育課長】

清掃業務については、定期清掃のほかに日常清掃といって、そこに常駐している清掃員がいることもあり、そこはやっぱり館によったり広さによって異なるもので、なかなか面積割りでというふうに出すのは難しいところだが、夢咲くら館については新しくできたところもあって、館内に限らず駐車場の辺りの清掃をするところも含めて積算しているので、ちょっと高いものと捉えている。

【委員1名より】

では、日常的に清掃業務を行われているのは夢咲くら館とか負担行為の多いところだということか。

【社会教育課長】

弥富公民館については、定期清掃のみというところになっている。中央公民館に常駐がいるかというのは、今すぐに確認が取れないが、夢咲くら館については常駐がいるので、その分の人件費が高くなっていると捉えている。

《議決結果》

可決

4 教育長閉会宣言